KOBE NAGATA

健康・友愛・奉仕

長田いきいきクラブ

長田区老人クラブ連合会広報紙
160号
令和7年7月10日発行

発　行：長田区老人クラブ連合会　神戸市長田区北町3丁目4番地の3 長田区地域協働課　TEL：078-579-2311
印　刷：株式会社二チコミ　神戸市中央区栄町通1-2-7 大同生命神戸ビル7階　TEL：078-333-7707

山積する課題や問題に果敢に挑戦

長田区老連会長　末澤　章弘

令和6年度を振り返ってみますと、新型コロナウイルスが感染症法の5類に移行され1年を経過したこともあり、区老連の活動も行事が徐々に再開してきました。長田区は高齢化率が神戸市の中で一番高く、高齢者の増加にともなう認知症発症者の増加が懸念されますことから、区老連として認知症問題に取り組むべく、「認知症予防推進委員会」を立ち上げ、令和6年度には区内11カ所で〝認知症予防教室〟を開催しました。また、そのほかに全体対象行事として〝男の料理教室〟〝ながたシニアファッションショー〟も実施し、好評をいただきました。また、高齢化が進む中で老人会会員が減少している問題に対処すべく「政策室」を設置し、会員減少の最大の問題である〝会長問題・後継者問題〟について組織内の全会長に「アンケート調査」を実施し、集計・分析に基づく「会長懇話会」を開催しました。

令和7年度につきましても、高齢者の孤立・孤独による〝閉じこもり〟〝引きこもり〟が認知症の大きな要因にもなっておりますので、引きつづき〝認知症予防教室〟を12カ所に広げ実施いたします。

また、全体を対象とした行事も前年度にプラスして高齢者死亡要因となっている「誤嚥性肺炎」対策とする〝嚥下力強化〟として、「カラオケ大会」を実施する計画をしています。また、政策室を中心として、会員増強・解散クラブ〝ゼロ〟を目指して、会長懇話会を3回実施する予定をしています。

そして、会員減少の最大の原因である後継者がいないことによるクラブ解散という問題に取り組むべく、「リーダー育成・組織拡大への参画と行動」として10月開講予定の神戸市老連「シニア希望塾」（仮称）へ積極的に参加していきたいと考えています。

また、従来行っています〝各種スポーツ・健康体操・体力測定や旅行〟等多くの会員の皆様が参加できる魅力ある行事を企画していきたいと考えておりますので、どうか今後とも区老連行事には多数ご参加くださいますようお願いいたします。

今後も長田区老連活動に引きつづきご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。

区制80周年を機に長田の魅力再発見

長田区長　田中　幸夫

4月1日付で長田区長に着任いたしました、田中幸夫でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

長田いきいきクラブの皆様方には、平素より、市政並びに長田区政にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

長田いきいきクラブにおかれましては、「健康」「友愛」「奉仕」を柱に、グラウンドゴルフ大会などのスポーツや趣味を通じた交流、健康づくりの講座、地域貢献活動など、皆様のご活躍は長田区の大きな力となっております。特に、友愛訪問や子どもの見守り、清掃活動など、地域を支える温かな取り組みに、深く敬意を表します。

近年では、認知症やフレイル予防にも積極的に取り組まれ、「ながたシニアファッションショー」など、誰もが楽しく参加できる行事を企画・運営されております。こうした創意工夫に富んだ活動は、地域のつながりを深めるとともに、シニア世代の新たな可能性を広げてくださっています。

本年、長田区は区制80周年という節目を迎えました。これを機に、長田の魅力を再発見し、皆様の声を大切にしながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

これからも、皆様の豊かな経験と知恵を地域に活かしていただき、いきいきとご活躍されることを願っております。

結びに、長田いきいきクラブのさらなるご発展と、会員の皆様のご健康でのご活躍をご祈念申し上げまして、区長着任のご挨拶とさせていただきます。

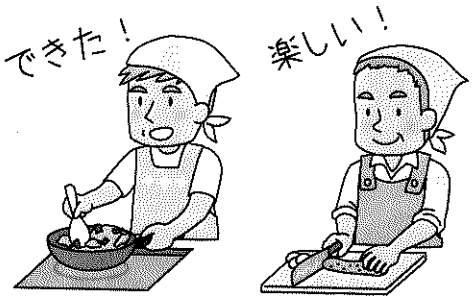
長田区長 田中 幸夫 経歴

1993年4月
神戸市採用
2018年4月
長田区まちづくり課長
2023年4月
建築住宅局建築指導部長
2025年4月
長田区長

第2回 男の料理教室開講

ながた区外からも多く参加

腕をあげた皆さん



本年6月4日新長田合同庁舎調理室で第2回男の料理教室が開催された。前回の教室の模様は、庁舎1階ロビーに掲載され、来庁者の関心が寄せられ、高い評価があるとセンターからも寄せられている。ポスターを見た地域の住民からも関心が寄せられ、参加の有無の問い合わせもあった。今回の教室は、区老連会員のみならず一般市民・センターを利用する団体・他区老連からの参加なども受け入れ、多彩な受講の顔ぶれとなった。また、長田区役所地域協働課からも前回に続いての参加も実現。引籠り防止／認知症対策を目的とした「男の料理教室」は類を見ない活況を呈することとなった。

今回の参加者には80歳代も多く参加。何歳になっても新しい物事を吸収しようとする姿勢。また、会員外の人たちの、違ったフィールドへ挑む姿勢も私たちは模範として見習いたいと思う。参加者4人がワンチーム。4班に分かれていよいよ料理に挑戦。講師は前回同様米川シェフ。挑むメニューは、⑴野菜・ベーコンの中華風炒め　⑵海苔と豆腐の餡かけ　⑶蒸し鶏の葱味噌掛け　⑷鰺と香味野菜のカルパッチョ風サラダの4品。

いよいよ担当料理に分かれてスタート。緊張のボルテージが一挙に上昇。講師が各テーブルを廻り指導が始まる。材料の切り方を教わるも上手くいかず苦戦。「同じ包丁を使うのになぁ…」。あちこちでぼやく声も。それでも受講生の懸命な努力で徐々に仕上がっていく。さぁ盛り付けを開始。「こっちの野菜の量が少ない」「お皿が何枚いる？」。各テーブルは騒然。ワイワイガヤガヤ、何とか人数分の料理の盛り付けが完成。参加者はほっと一息、汗をぬぐう。さぁ試食タイム。並べられた料理に箸を進める。各テーブル完食。講師の好指導？受講生の腕なのか？皿はどれも綺麗に空となる。

食後の意見交換では、時間短縮のため、講師が鰺の下ごしらえをし会場に持ち込まれたことで、鰺の捌き方、3枚おろしが勉強できなかったことなどの不満がだされた。

第3回教室は10月12日（日）の予定。どんなメニューが登場するのか楽しみ。

桑原審査委員長の講評も披瀝。「思った以上に参加者の皆さんが熱心に取り組み、うまく対応していることに驚きと真摯な姿勢に感動した」とコメント。参加者へ修了証書を授与し、次回の再会を約した。

散会するとき「帰宅したら復習してふるまってみたい」との声。料理教室が「仲間づくり」に生かされ、孤独な一人住まいにならないことへの大きな礎となった。今回の大きな目的に一歩近づけたと。関係者の皆々様に感謝申し上げます。

（文責　村上　悟）

老人会の行く末に灯

後継者育成に「塾」の開講へ

長田区老連総務部会長　日置　一夫

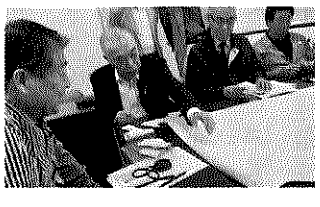
我が国の老人会が衰退一途の危機にある。1998年887万人が2022年438万人にも減少。65歳以上人口は1998年2051万人に対し、2022年には3623万人と大幅に増加。老人クラブ加入率は43％から12％に減少している。長田区老連も同様、2020年36クラブが2027年28クラブ、会員数も2858名から1831名に減少。原因の多くはクラブリーダーの後継者不足による解散を余儀なくされている。また、高齢になっても就業、世間では高齢者を取り込む企画が氾濫、何も老人会でなくてもとの現状がある。加えて、今まで運営を行政におんぶをされてきた自らの努力不足など多くの要因がある。長田区老連では、後継者不足・会長問題に焦点をあて、「会長アンケート」を実施して問題点を探った。

克服には多くの課題が存在するが、急ぐべきは「後継者育成＝塾の立ち上げ」と提起。

早急に組織内に「育成塾」の設立を企画した。こうした動きが、垂水区老連・東灘区老連にも同調されることとなり、3地区老連合同の「塾開講」と進み、途中の経過において神戸市高齢福祉課や神戸市老人クラブ連合会とも相談・協議がすすめられ、「後継者育成問題は神戸市老連の所管」本年10月より「シニア希望塾」として開講する運びとなった。今も会長が死去、病気で後継者不在となり、クラブの解散が続いている。

今、老人会としての「自助努力」が求められる。地域との「共助」、行政各機関との「公助」の三位一体が求められている。

リーダーの責任の重大さと会員個々人が地域で一人でも多く老人会への加入を働きかけてもらいたいと願います。市老連における後継者育成塾立上を英断された決意に敬意を表します。



区老連7年度第1回グラウンドゴルフ大会開催
雨模様 2ラウンドに短縮／熱戦展開

5月9日（金）総合運動公園にて開催。昨日の晴天から一転、当日は朝から雨模様の空を懸念する事態となりました。区老連役員やボランティアの手でグラウンドの水たまりの除去など懸命に作業が進められ、午前10時、開始時間を早めてのスタート。地域協働課山根課長並びに赤羽代議士高瀬秘書から激励のお言葉をいただき、引き続き、試打式がおこなわれました。

1回戦終了時点で降雨があり、2回戦をもって試合は終了となりました。選手一同小雨降る空を見上げて、恨めしい気味な様子でありましたが、試合結果の集計、表彰準備の間、三々五々に休憩・食事タイムとなりました。

試合結果は、別表の通りで、末澤会長より、それぞれ表彰状が授与されました。

今回の大会に際し、担当役員の体調不良によって用具の運搬が不能となりました。長田スポーツ店・区役所地域協働課に運搬作業等、大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

左から　3位 浜崎 悦子さん
　　2位 坂田 初枝さん
　　3位 若原 静香さん

左から　2位 堀内 一未氏
　　1位 南上 功氏
　　3位 奥地 晃氏

男子の部
1位　南上　　功 ／ 宮川松寿クラブ（40）
2位　堀内　一未 ／ さわやかクラブ（40）
3位　奥地　　晃 ／ あじさいクラブ（42）

女子の部
1位　若原　静香 ／ 御蔵567睦会（45）
2位　坂田　初枝 ／ 宮川松寿クラブ（46）
3位　浜崎　悦子 ／ 駒ケ林寿会（46）

（　　）内は打数

令和7年度第1回 輪投げ大会
男女127名が熱戦を繰り広げた
常磐アリーナで開催

5月28日（水）午後1時から長田区常磐アリーナにおいて、令和7年度第1回輪投げ大会が開催されました。大会には、男子26名、女子101名、合計127名が参加。熱戦が繰り広げられるたびに歓声が上がり、大変な盛り上がりを見せる大会となりました。

成績は右記の通りでした。

男子の部
1位　藤竹　一夫 ／ さわやかクラブ（74）
2位　藤井　次和 ／ 駒ケ林寿会（46）
2位　伍々　　司 ／ 宮川松寿クラブ（46）

女子の部
1位　楠原　芳子 ／ 二葉喜楽会（73）
2位　住岡てる子 ／ 室内長生会（66）
3位　宮前　逸子 ／ 新長田地区和楽会（61）

（　　）内は成績

左から　住岡さん　楠原さん　宮前さん

左から　藤井氏　藤竹氏　伍々氏

さわやかクラブのその後
クラブとして感謝状を贈呈

さわやかクラブ会長　藤竹　一夫

二久塚長老会改め「さわやかクラブ」として4月1日よりスタートいたしました。

会員数の確保ではずいぶん苦労しています。

亡くなった家内の知り合いということで遠方の方にも入っていただいたりして、なんとか体裁を整えている状況です。

私は13年間会長をしていますが、それ以上に老人会の発展のために活動されています家長久子さんを褒章するため、関係者と相談。家長さんの貢献を称え、5月8日に「さわやかクラブ」より感謝状を贈呈いたしました。家長さんは93歳のばりばりで、健康に留意されて長く活躍されることを祈っています。

写真中央が家長さん

市老連 7年度 第1回
春季グラウンドゴルフ大会開催（5月22日）

長田区老連から選ばれし21名参戦
な、なんと、男性軍が2・3位！
女性軍が1位を奪取！

（個人戦）

男子の部
　1位　福井　伸宏 ／ 東灘（55）
◎2位　大槻　　操 ／ 長田（57）
◎3位　竹内　孝人 ／ 長田（58）

女子の部
◎1位　末広智恵子 ／ 長田（57）
　2位　宮本　徑子 ／ 須磨（63）
　3位　山上　雅子 ／ 須磨（64）

（　　）内は打数

長田の歴史

ケミカルシューズの歴史

大阪の喰い倒れ、京都の着倒れと言えば、神戸は履き倒れともいわれます。

靴の歴史は数千年前に遡りますが、20世紀初頭には、ゴム底の靴が広く普及し始めたことで、化学素材の靴が市場に進出しました。1940年代から1950年代に化学素材を使用することで、靴の形状やデザインの多様性が拡大し、消費者のニーズに応える革新的な製品が続々と登場しました。

1960年代から1970年代にかけては、エチレンビニルアセテート（EVA）やポリウレタンといった新しい素材が導入され、スポーツシューズで注目を浴びました。

1980年代から1990年代にかけて、カジュアルシューズやハイファッションの分野でケミカルシューズの需要が急速に拡大しました。

1995年の大震災で神戸（長田）のケミカルシューズ業界は壊滅的な大打撃をうけました。特に取り扱う原材料の火災による甚大な損害が発生しました。この災害が業界に与えた影響は深刻であり、復興や再建に多くの努力が必要とされました。

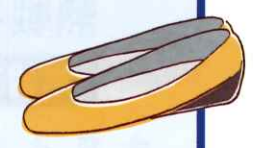
現代では、スマート素材や3Dプリンティング技術を取り入れた靴も登場しており、個別化された履物の製造が可能になっています。さらに、環境意識の高まりによって、持続可能なケミカルシューズの開発が加速しています。これらの取り組みは、靴業界の未来を形作る重要な要素となるでしょう。

（以上はAIに下書きを書いてもらって、できるだけ短くしたものです。）

新長田駅の北歩いて3分ほどに、赤いハイヒールが目印のシューズプラザがあります。1階の店舗は1店のみで、他の店舗はなくなっていました。残った店舗も10月ぐらいで閉店とききました。残った店舗の中村洋人さん（下の写真）に話を聞きました。中村さんは以前には庄山町にお住まいで、老人クラブ（庄山3・4あじさいクラブ）の会員さんでもあったようです。

インタビューさせていただいたなかで最も印象に残ったことは、豊岡市のカバンと神戸市のケミカルシューズの違いです。鞄類は1点で製品として成り立つのに比べシューズの場合は縦寸法・横寸法・甲高・色彩・模様などひとつのシューズを製品とするためには大変な数のシューズをそろえなければなりません。またどちらにも工業組合的な組織があるが、ケミカルシューズの工業組合は震災被害の影響が大きく、組合構成会員の劇的な減少とスニーカータイプの需要により、スポーツ系メーカー（ナイキ・アシックス・アディダス・ヨネックス・ミズノ等）から供給されるようになってきています。

また、企画はするが自社工場は持たず製造は海外で行うテーブルメーカーが増えてきています。



長田区老連令和7年度定期総会開催

5月19日（月）長田区老連定期総会が102名の会員の出席のもと、田中新区長・河端副区長／総務部長・山端神戸市老連事務局長など多数の御来賓をお迎えし午後2時から開催されました。それぞれの御挨拶をいただき、議事を進行。多くの多彩な活動・行事などを報告。財政難の中での収支報告を承認され、次年度の活動方針を提案。大きな課題は、会員減少、後継者問題そして財政の健全化など問題提起され、区老連一体となる取り組み、会費の値上げ、活動支出などの抜本見直しなどを確認し、承認されました。

新役員の紹介

常任理事
三宅 義弘
池田親交会会長

副会長
認知症予防推進活動委員長
村上 悟
駒ヶ林寿会会長

神戸市老連7年度社員総会開催

5月30日（金）開催

令和7年度社員総会が開催されました。事業報告や決算報告並びに7年度の事業計画や予算等が提案され、承認されました。長田区老連から末澤会長・重松副会長等5名が出席。

会員文芸

俳句

新長田地区和楽会俳句同好会

夕焼けに急かされ孫は握手して　有賀　英子
ジャスミンの香ほりまとってリハビリす

今日も雨隣の紫陽花はしゃぎをり　木村　トキ
客も去り園の片隅半夏生

春炬燵目覚めて急ぐ膳支度　竹内　幸子
風そよぐ五月の空は子らの空

飛花落花我が生を問う待合所　竹内　孝人
海の青能登の夜明けや若布（わかめ）売り

編集後記

梅雨入り前の5月頃から庭にナメクジが出没し、せっかく植えた植物の茎や葉を食い荒らします。とても益虫ではなく害虫ですね。昭和30年代ころには湿った台所に出没するナメクジに塩をかけて退治したりしていましたね。ナメクジはアルコール中毒のようで、ビール酵母の匂いに誘われて、ビールの入った容器に入り、おぼれて溺死します。ナメクジと一緒にダンゴムシもビールに飛び込み溺死します。ただ、ダンゴムシは土壌を改良する益虫でもあるので全滅は避けた方がいいようです。今後猛暑が続きます。熱中症にお気を付けて。

長田区老連　広報部